



2024年10月26日

一般社団法人日本パラ水泳連盟

2025年、2026年の2年間、アジア地区におけるワールドシリーズ
日本初開催！

パラ水泳 ワールドシリーズの開催が決定 「World Series Fuji-Shizuoka 2025-26」

静岡県富士市 静岡県富士水泳場にて

(一社)日本パラ水泳連盟では、東京2020パラリンピックの機会を活かし、レガシーとしての国際貢献の一つとして、ワールドシリーズの日本での開催を要請してまいりましたが、この度2025年、2026年の日本(静岡県富士市)の開催が決定いたしました。

パラ水泳のワールドシリーズの日本における開催は初めてのことであり、この2年間のアジア地区におけるワールドシリーズの開催地の一つとなります。

<https://tinyurl.com/an22s6tt>

会場は、静岡県富士市の静岡県富士水泳場。

日程は、

① 2025年は、4月10日(木)から12日(土)

② 2026年は、5月28日(木)から30日(土)

の各3日間を予定しています。

大会名は「World Series Fuji-Shizuoka 2025」「World Series Fuji-Shizuoka 26」とします。

ワールドシリーズとは…

国際パラリンピック委員会(IPC)の中の水泳部門 世界パラ水泳連盟(WPS)が主催し、世界各地でシリーズとして開催するパラ水泳の大会。

世界最高峰の大会として4年に1回開催されるパラリンピックがあり、次に2年に1回開催される世界パラ水泳選手権大会があり、次に毎年開催されるパラ水泳ワールドシリーズがあります。

ワールドシリーズは概ね世界の大陸毎に何か所か開催されており、全体では8か国程度の開催となっている。

今までアジアでは開催国は 1 つで、2020—2024 にシンガポールで開催され、この度 2025—2026 は日本での開催となりました。

ワールドシリーズは、世界選手権やパラリンピックに出場するための記録として認定されるほか、障がいによる競技クラスの認定も行われる重要な大会。特に 2025 年-2026 年はロス 2028 に向けて新人の登竜門になります。

開催は立候補制度となっており、WPS の審査を経て開催契約を締結することで決定される。一つの大会で概ね 20 か国~40 か国 150 人~400 人の参加があります。

日本で開催することの意義として、

① 世界のパラ水泳アスリートのパフォーマンスを見せたい

東京 2020 パラリンピックが 1 年延期されて開催されたものの、無観客開催となり、多くの国民、特に子どもたちにパラ水泳アスリートのパフォーマンスを実際に見てもらえていない。そのため多様性やインクルージョンの普及、IPC の4つの価値などがレガシーとして残せていない。

このため世界から多くのトップアスリートが集まるワールドシリーズを日本で開催することで、重度から軽度の様々な障害があっても、その中でできる水泳競技のパフォーマンスを見せることで、障がいがあっても多くの可能性があることを知ってもらう機会をつくることのできる

② 世界の選手と競う機会をつくりたい

日本のパラ水泳競技力向上のために、世界の選手と競う機会をつくりたい。競技力向上のためには、同じクラス、同じような障がい者のパフォーマンスを見て学ぶ必要があると考えている。海外大会へ派遣できるレベルに満たないアスリートに刺激を与え、競技力向上につなげたい。

また、トップアスリートの競技を、日本の多くの障がい者に見てもらうことで、パラ水泳の裾野の拡大を図る。

③ アジアへの貢献を行いたい

アジアには、開発途上国がまだまだ多くあり、パラ水泳の普及は進んでいない。先般 ASEANカンボジアの大会に役員派遣を行うなど国際貢献事業を国とともにやっているが、さらに東京 2020 パラリンピックのレガシーとしての国際貢献の一つとして、日本で開催し、アジアのパラスポーツの発展に寄与したいと考えている。

静岡での開催としたのは、

① Japan を象徴する 富士山は今や世界から注目される人気スポット。この富士山がそびえる静岡県、富士市での開催は、海外選手を招いての日本での最高の大会を開催するのに最もふさわしい

② 河合純一(パラ水泳連盟会長)、鈴木孝幸(パリ金メダリスト)というパラ水泳の金メダリ

ストを生んだ静岡県という背景も見逃せない

- ③ 東京パラ後の日本における共生社会をつくっていくには、「日本一、パラスポーツで幸せを実感できる県になる～県民が多様性を受け入れ、いきいきと健康に暮らせる共生社会～」とビジョンを掲げ、パラスポーツ推進コンソーシアムを設立された静岡県がふさわしい
- ④ 2008年から静岡県富士水泳場や静岡県立水泳場で春季の記録会を実施してきており、2010年からはWPS公認大会として長きに渡る大会運営の実績がある。東京大会前は富士市の子どもたちから多くのメッセージをいただくなど、交流も深い